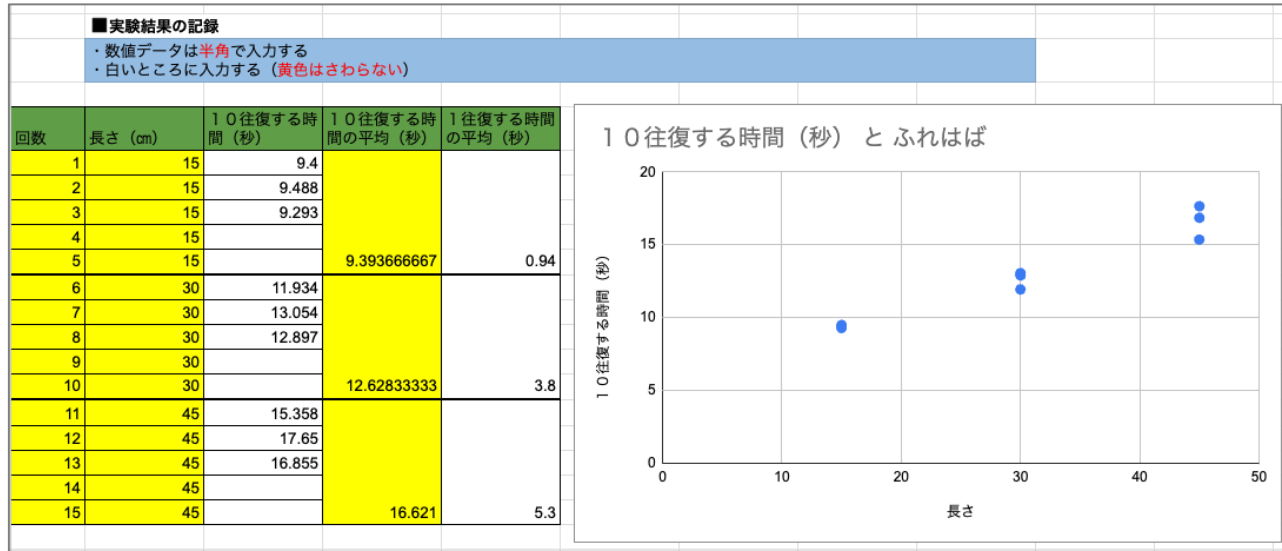


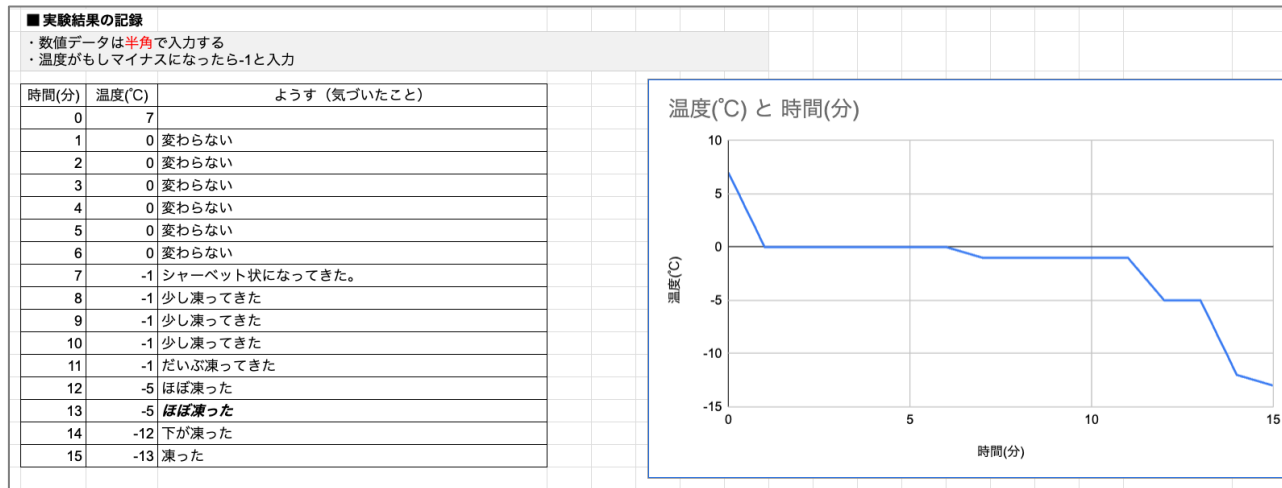
リーディングDXスクール事業【実践事例】

春日井市立松原小学校（愛知県）【協力校】

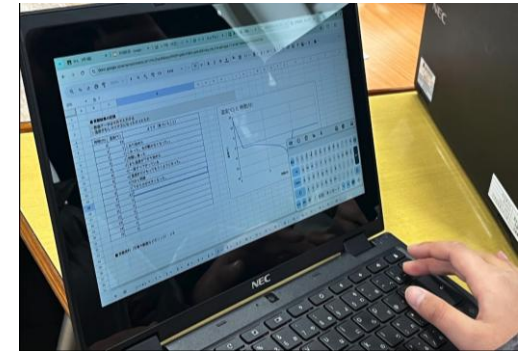
【取組内容】 ② 量的データを表とグラフで整理し、考察するトレーニング



小学 5 年理科 ふりこ（長さを変える実験）



小学 4 年理科 水のすがたと温度（温度を下げる実験）



児童は、数値などの量的データを表に整理し、グラフ化して考察する経験が不足しがちである。そこで、表に数値を入力すると自動でグラフが作成される教材を教師がGoogleスプレッドシートで作成し、量的データの整理・分析のイメージを掴ませている。

慣れてきたところで、徐々に教師が準備する部分を減らし、最終的には児童が全て表とグラフを作成できるようにする。このように、教師が足場をかけ、徐々に外していくことで情報活用能力の育成を図っている。